

平成25年度ホタテガイ採苗情報（第5報）

平成25年5月22日

発行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



県中南部～南部でラーバ・付着稚貝数が増加

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は7.6℃と平年より2℃低め。水深10～50mで7℃台となっています。透明度は14m（前回8m）でした。
- ラーバの出現数は、県北部から県中北部は横這い～減少、県中南部から県南部は増加傾向です。200μm以上の大型個体の割合は60～100%です。
- 試験採苗器の付着稚貝数は22～640個/袋（前回19～45個/袋）でした。唐丹湾は前回より増加し、9割弱が付着直後の個体でした。
- 県中南部から県南部にかけてムラサキイガイの出現数が依然多い状況です。付着稚貝数は、唐丹湾で738個/袋、綾里で1,059個/袋、泊で241個/袋でした。また、ラーバ調査ではキヌマトイガイも多数確認されています。
- 県中南部から県南部にかけて採苗器の投入適期と思われます。ただし、ムラサキイガイも多数付着することが予想されますので、採苗器は多めに準備し複数回に分けた分散投入の実施を心がけてください。

< 宮城県の状況（5月22日発行気仙沼水試ホタテガイ採苗通報） >

- 気仙沼周辺海域で付着稚貝数が79～246個/袋と先週に比べ増加したことから、採苗袋の投入継続を指示。

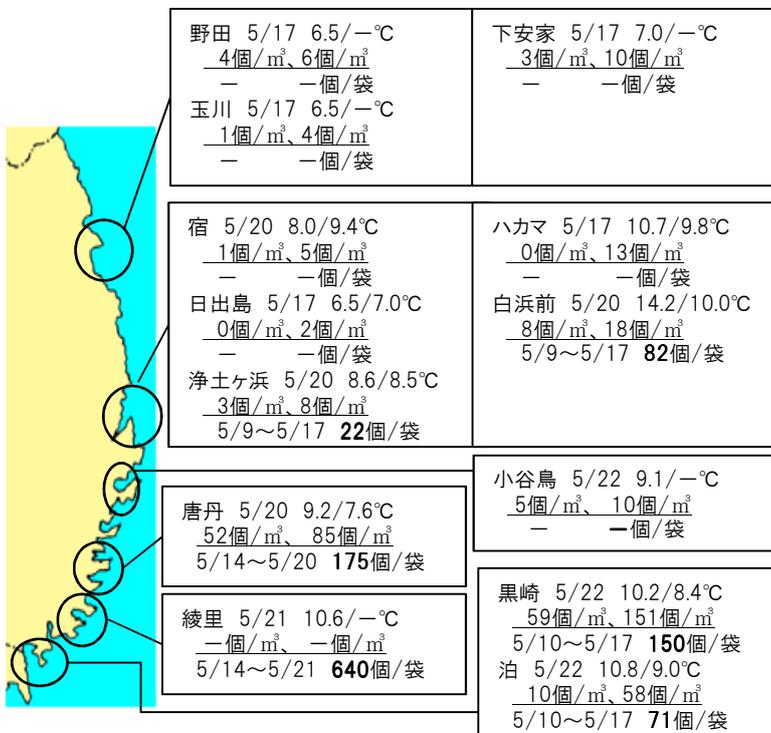


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 0m/10m層水温
ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

次報は、5月30日に発行する予定です。

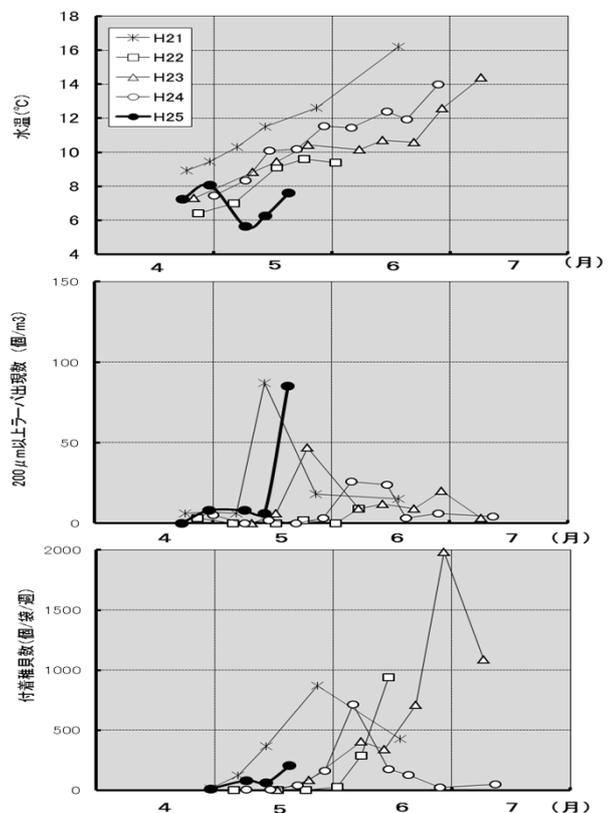


図2 唐丹湾の水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況